

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原北公園、道保川公園、相模原麻溝公園、相模大野中央公園
指定管理者名	公益財団法人相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	<p>◆相模原北公園(平成3年供用開始)： 北部地域における公園緑地の拠点として整備されている。公園内に北総合体育館、多目的広場アジサイ園などがある。</p> <p>◆道保川公園(昭和59年供用開始)： 相模原近郊緑地保全地区内に位置し、良好な自然環境を有する風致公園である。自然のなかで、じかに野鳥や植物の観察などを体験しながら、自然への認識を深めることができる。野鳥観察ゾーン・山野草観察ゾーン・森林生態観察ゾーン・水生動植物観察ゾーン等がある。</p> <p>◆相模原麻溝公園(昭和60年供用開始)： 北側に県立相模原公園、西側に女子美術大学が隣接し、公園内を横浜水道道が通っている。大花壇、センター広場、芝生広場、グリーンタワー相模原、フィールドアスレチック、多目的広場がある。一部首都圏近郊緑地保全地区指定区域に含まれる。総合公園。</p> <p>◆相模大野中央公園(平成2年供用開始)： 小田急線相模大野駅周辺地区に位置しており、買物や、通勤、通学などで中心市街地に集う人々や地域住民の憩いの場を目指している。近隣公園。</p>
施設所管課	環境経済局 公園課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア参加者数(人)	2,907	3,107	2,834	1,778	2,307	2,378	

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	ボランティア登録者数に関しては目標を達成し、前年度に比べて増加した。今後はさらなる新規ボランティア確保や、活動しやすい環境づくりなどの取組に期待する。緑化活動については目標は達成しているが、前年度と比較し、大幅に減少している。次年度は前年度までのように活発な活動に期待する。

指標1

指標名(単位)	ボランティアの全体登録者数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度=実績値/目標値

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	234	250	230	230	230	230	
実績値(人)	292	295	266	260	254	268	
達成度(%)	124.8%	118.0%	115.7%	113.0%	110.4%	116.5%	

指標 2	
指標名 (単位)	緑化活動の回数(回)
指標式と指標の説明	達成度 = 実績値 / 目標値

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (回)			50	50	50	50	
実績値 (回)			164	200	270	196	
達成度 (%)			328.0%	400.0%	540.0%	392.0%	

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	コロナによる感染拡大防止の観点から中止にした事業があったが、実施方法などを工夫し実施可能事業があったのではないかとされる。今年度に関しては前年度と比較し、イベント実施についても緩和されていたこともあるので、積極的にイベントを実施するべきだったと考える。次年度はコロナに関する規制がさらに緩和されるため、より多くの事業が開催されるよう期待したい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
クレマチスフェア(麻溝公園)	5月(未実施)	クレマチス花鉢展示やクレマチス園芸相談等を行う指定事業。 対象:来園者 →新型コロナウイルス感染症拡大により相模原市が中止を決定	
アジサイフェア(麻溝公園)	6月(未実施)	クレマチス花鉢展示やクレマチス園芸相談等を行う指定事業。 対象:来園者 →新型コロナウイルス感染症拡大により相模原市が中止を決定	
アジサイ・ローズフェア(北公園)	6月(未実施)	アジサイ花鉢展示、アジサイ挿し木苗配布等を行う指定事業。 対象:来園者 →新型コロナウイルス感染症拡大のため相模原市が中止を決定	
オータムフェア(北公園・麻溝公園)	10月	花苗販売や園芸相談等を行う指定事業 対象:来園者 コロナ感染防止のため規模を縮小して実施	◎
ホテルの鑑賞会(道保川公園)	6月	コロナ感染防止のため当初は未実施の予定だったが市民からの要望が強く急遽3日間閉園時間を延長した	◎
ボランティア育成事業 (北公園・麻溝公園・道保川公園)	通年	園内の除草等をはじめとする植栽管理を市民協働により実施。 延べ参加人数2,480人	◎

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ネイチャークラフト教室(北公園)	7月	自然の素材を利用して(木の枝や木の実など)クラフトアートを作成しながら、使用する材料の特徴等も学んでもらう。 対象:小学生	○
寄せ植え教室 (北公園・麻溝公園・相模大野中央公園)	6・10・12・2月	季節の花を使い長く楽しめる寄せ植え作りを学んでいただく事業。植えた後の手入れ方法などの指導もあり、有意義な事業である。対象:どなたでも	◎
フリーマーケット(北公園・麻溝公園)	10月	必要な方にリユース(販売)することで、ゴミの資源化・減量化につなげるフリマをオータムフェアと同日開催する事業。コロナ感染防止対策のため2年間実施できず、北公園では初の開催。多くの来園者がフリマを楽しんでいた。	◎
初日の出観賞会(麻溝公園)	1月	<インスタ映えスポット提案事業> 11組31名が参加(当日のキャンセルあり)当日、抽選である事を知らずに来園される方も多数おり、ギオンスタジアムで初日の出観賞を実施している旨を伝えた。	○
紙芝居(麻溝公園)	6~3月	日本独自文化の紙芝居を通じて、紙芝居の楽しさを乳幼児から高齢者までを対象に感じてもらうとともに、公園来園者の満足度向上や来園者数増加を目指して事業を実施する。月1回開催	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	毎年高い満足度を得ているのは、実施事業の参加率の高さや、日常管理におけるスタッフ対応など安定した公園管理が行われていることへの評価であり、指定管理者の努力の成果と思われる。引き続き安定した公園管理と適切な利用者対応をお願いし、イベント等による更なる魅力発信等利用者満足度のさらなる向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	聞き取り等によるアンケート集計/年2回/サンプル数 年間600
目標値の基準	施設を利用した感想として「大変よかった」、「良かった」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績値 (%)	91.0	96.2	95.5	94.6	92.0	91.0	
達成度 (%)	101.1%	106.9%	106.1%	105.1%	102.2%	101.1%	

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	管理事務所に意見箱を設置し、自由なご意見を投函することを可能とした。当事者が回答を望む場合については、掲示板に回答を一定期間掲示している。
ホームページの問合せ	通年	24時間、365日受け付けることが可能となっている。来園を検討されている方や対面または電話などによるご意見が難しい利用者の意見を伺うことができる。ご意見に関してはEメールにより都度回答をしている。
事業毎のアンケート	事業都度	自主事業を実施した際、利用者ニーズを図るために実施している。ニーズを反映し事業を実施することで、参加率の向上を図っている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	施設の収支としては本体事業収支は赤字、全体収支は黒字となっており、団体の経営状況については若干の懸念があることからB評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)	190,276	189,489	192,329	
指定管理料	188,203	188,203	188,203	
利用料金収入	0	0	0	
その他の収入	2,073	1,286	4,126	
支出 (b)	196,499	198,515	202,822	
人件費	80,613	81,704	81,653	
本社管理経費	10,301	9,712	10,530	
その他の支出	105,585	107,099	110,639	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-6,223	-9,026	-10,493	
自主事業収入 (d)	12,217	13,372	13,791	
自主事業支出 (e)	2,433	2,572	2,620	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	9,784	10,800	11,171	
全体収支 【(c)+(f)】	3,561	1,774	678	
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和5年1月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	スマートフォンからホームページにアクセスした場合、スマートフォン仕様の表示が可能。

9 指定管理者の自己評価

成果指標であるボランティア会員数については、高齢化による会員数の減少や新型コロナウイルス感染症拡大による団体活動の自粛などが影響したため、既存団体の会員数は減少したが、新たにボランティア団体を登録したことにより、会員数全体では増加となった。令和4年度はオータムフェア以外の公園フェアが中止となるなど、ボランティア活動を広く周知する場を用意することが困難であったが、インターネットなどを活用して積極的に活動をPRするなど、積極的に取り組んだ。

緑化意識啓発活動回数についても、FacebookなどのSNSサービスを積極的に活用して公園のPR活動を行い、花の見頃情報やボランティア活動報告等を積極的に行い、情報発信に努めた。

満足度調査の結果は、目標値の90%を超える高い評価を得ている。収支状況についても、修繕や樹木剪定等の予算に充当するなど、積極的な利益還元を努めた。

10 所管課意見

定期的な清掃や点検を欠かさず、清潔で安全な公園管理を行うことで、多くの利用者から高い評価を得ている点は大いに評価できる。

事業の中止や既存ボランティア会員の減少がある中で、インターネットの活用など積極的な取り組みにより、新たな団体の登録と会員数全体を増加させたことは評価できる。

実施事業についても満足度が高いことは評価できるが、新型コロナウイルス感染予防により中止になった事業もあり、今後は実施方法の工夫によってさらに多くの事業が実施されることを期待したい。

11 選考委員会意見

- ・持続性という部分で自主事業をどのように考えていくのか、収支改善も含め検討する必要がある。
- ・コロナ禍のような非常時において、ボランティア活動にどのような影響が生じるのか、今後のために分析しておく必要がある。
- ・相模原北公園及び相模原麻溝公園は総合公園であり、市の顔となる公園である。そのため、他の公園以上に魅力発信も含め、
しっかりと管理運営をお願いしたい。
- ・倒木等の事故があるが、古い樹木が多いため、安全管理を徹底し、計画的な管理をお願いしたい。

総合評価（自動判定）

